参考資料

自治体・法人お客さま向け 脱炭素支援サービスの取り組み状況について (太陽光発電 P P A サービスの事例のご紹介)

2024年2月29日

四国電力株式会社



1. 太陽光発電PPAサービス(オンサイト)の導入事例

◇事例1:イオンモール店舗におけるソーラーカーポート

・2023年12月、Sun Trinity合同会社は、イオンモール株式会社が所有する国内商業施設12店舗において、屋外駐車場に国内最大規模となる合計約1.5万kWのカーポート型太陽光発電設備(ソーラーカーポート)を導入する契約を締結

<事業概要>

事業主体	Sun Trinity D 合同会社 [*]	
出資者	Sun Trinity 合同会社(100%)	
開発地点	イオンモール大和郡山(奈良県大和郡山市) イオンモールむさし村山(東京都武蔵村山市) など12店舗	
出 力	約15,000kW(12店舗計)	
年間発電電力量	18百万 k Wh(同上)	

※Sun Trinity合同会社が全額出資する事業運営会社

<ソーラーカーポートのイメージ図>



◇事例2: 香東川浄化センター

・高松市の香東川浄化センターの未利用地に太陽光発電設備を導入。 香川県内の自治体では初めてのオンサイトPPAの導入事例であり、 2024年2月1日から供給を開始している

<事業概要>

事業主体	Sun Trinity A 合同会社 ^{**}	
出資者	Sun Trinity合同会社(100%)	
開発地点	香東川浄化センター敷地内(香川県高松市)	
出 カ	1,072kW	
年間発電電力量	約1.3百万 k Wh	
運転開始	2024年2月	

※Sun Trinity合同会社が全額出資する事業運営会社



All Rights Reserved ©2024 YONDEN Shikoku Electric Power Co., Inc.

2. 太陽光発電PPAサービス(オフサイト)の導入事例

◇事例3:羽間上池·中池水上太陽光発電所

- ・当社では、ため池が数多くある四国の地理的特徴を活かして、水上太陽光発電事業の取り組みを進めている
- ・2023年11月に着工した「羽間上池・中池 水上太陽光発電所」の電力は、当社自身がPPAサービスの主体として香川県内の企業に販売する予定

<羽間上池・中池水上太陽光発電所計画の概要>

事業主体	羽間上池・中池水上太陽光合同会社	
出資者	四国電力(100%)	
開発地点	香川県高松市	
出 力	1,990kW	200kW
年間発電電力量	約3.5百万 k Wh	
運転開始	2025年2月(予定)	

<羽間中池水上太陽光発電所の工事状況(2月20日撮影)>

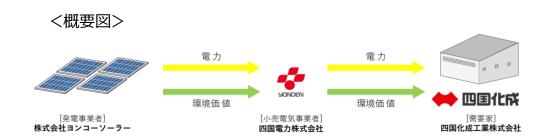


◇事例4:四国化成工業徳島工場への電力供給

- ・本事例では、ヨンコーソーラー※が香川県三木町のため池等に太陽光発電設備を新たに設置
- ・発電した電力は当社を通じて、四国化成徳島工場へ供給される予定であり、2025年2月の運転開始を見込んでいる
- ※株式会社四電工の完全子会社

<太陽光発電所計画の概要>

事業主体	株式会社ヨンコーソーラー
出資者	株式会社四電工(100%)
開発地点	香川県三木町等
出力	2,035kW
年間発電電力量	約3.3百万 k Wh
運転開始	2025年2月(予定)

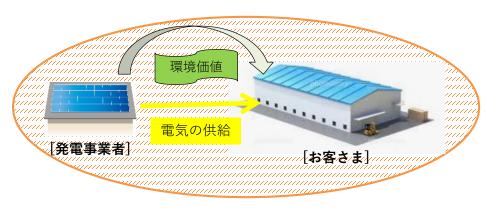


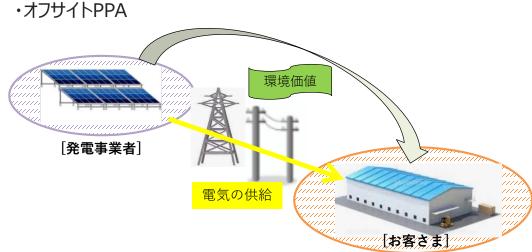
(参考) 太陽光発電PPAサービスとは

○ お客さまが初期投資不要で太陽光発電設備を導入することができるサービス。 当社では、2022年、住友商事とともに、太陽光発電販売事業を担う「Sun Trinity合同会社」を設立するなど、同サービスの 拡大に取り組んでいる。

◇コーポレートPPAサービスのイメージ

・オンサイトPPA





【特徴】

- ・お客さまの敷地内の空きスペース(屋根や駐車場など)に太陽光 発電設備を設置する
- ・敷地内に設置するため、発電規模は限定(小~中規模)される
- ・送配電網を介さないシンプルなスキーム

【特徴】

- ・お客さまの敷地内に空きスペースがない場合でも、敷地外に太陽光 発電設備の設置場所を確保出来れば導入可能
- ・広大な設置スペースを確保すれば、発電設備の大規模化も可能
- ・送配電網を利用するため、連系する系統に余力が必要なほか、 送配電網利用料等がかかることに留意が必要